



岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和3年9月15日

岡山大学

武田／モデルナ社新型コロナワクチン接種後副反応調査最終報告 ～男女半々の若い世代を対象とした2回目接種はどのような結果なのか～

- ・岡山大学における大学拠点接種で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施。合計7,205名（1回目3,917名、2回目3,288名）が副反応調査に回答しました。
- ・2回目接種後は、局所反応として、接種局所の痛みが90.0%、腫脹が55.3%に出現。遅延性皮膚反応とみられる接種後7日目前後での局所の腫脹や発赤は、ほとんど認められなかった。
- ・2回目接種では1回目と比較して全身反応の出現頻度が高く、筋肉痛が64.4%、倦怠感が84.2%、頭痛が74.7%、37.5度以上の発熱は88.0%で出現。

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に関して、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、大学拠点接種として岡山大学で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施。岡山大学教職員及び学生の合計7,205名が副反応調査に回答しました。

2回目接種後は、局所反応として、接種局所の痛みが90.0%、腫脹が55.3%に出現。遅延性皮膚反応（COVID arm）とみられる接種後7日目前後での局所の腫脹や発赤は、1回目接種後に2～3%前後に出現しましたが、2回目接種後にはほとんど認められませんでした。

2回目接種では、1回目と比較して全身反応の出現頻度が高く、筋肉痛が64.4%、倦怠感が84.2%、頭痛が74.7%、37.5度以上の発熱は88.0%で出現。若い世代で発熱の出現頻度が高い傾向で、40代以下では90%前後に発熱が出現しましたが、一方60代以上でも75.4%に発熱が出現しました。

女性では男性に比べて副反応が若干高い傾向（例：発熱で約2%差）でした。妊娠や基礎疾患があることで、副反応出現頻度が高まる傾向にはなく、アレルギー歴があっても微増程度でした。また、武田／モデルナ社ワクチンの副反応出現割合は、岡山県内の5病院で実施したファイザーワクチンの接種後副反応調査結果よりも高く、若い世代（20歳代以下）と比較しても、同様の傾向にありました。

厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われます。

ワクチンには副反応がありますが、大体の症状は接種翌日、翌々日には落ち着いています。ワクチンを打つメリットの方が大きいと思いますので、接種を考える際の判断や準備の参考にさせていただきますと幸いです。



頼藤教授



PRESS RELEASE

■発表内容

<現状> 武田／モデルナ社新型コロナワクチン接種が国内でも進行中

<研究成果の内容> 別添資料参考

<社会的な意義>

厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われまます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html

■調査情報

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載

U R L : <http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4923>

■研究資金

本調査は、岡山大学学都基金（新型コロナウイルス感染症関連研究支援）へのご寄付を財源として実施しました。

■補足・用語説明

岡山県の依頼を受け、岡山県内の5医療機関で協力し実施したファイザー社新型コロナワクチンの副反応調査の最終報告も岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載してあります。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野

教授 頼藤 貴志

助教 松本 尚美

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

准教授 萩谷 英大

岡山大学 保健管理センター

助教 樋口 千草



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

新型コロナウイルスワクチン (武田/モデルナ社 COVID-19ワクチンモデルナ筋注) 接種後副反応調査

最終報告

2021年7月5日～9月6日調査回答分

岡山大学 疫学・衛生学分野

新型コロナウイルスワクチン

(武田/モデルナ社 COVID-19ワクチンモデルナ筋注)

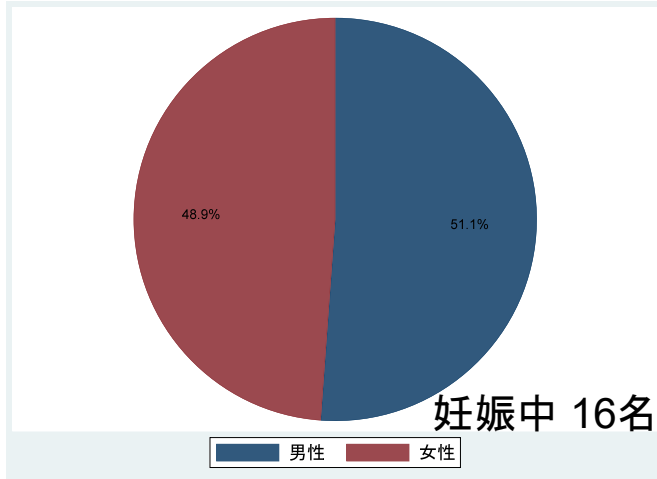
接種後副反応調査

目的	岡山大学における新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の頻度を評価し、一般の方へ正確な情報提供を行う
対象	岡山大学大学拠点接種で新型コロナウイルスワクチン(武田/モデルナ社)を接種した岡山大学教職員及び学生
調査実施方法	Google Formによる回答
解析	-記述分析 -岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野にて解析実施
実施主体	岡山大学

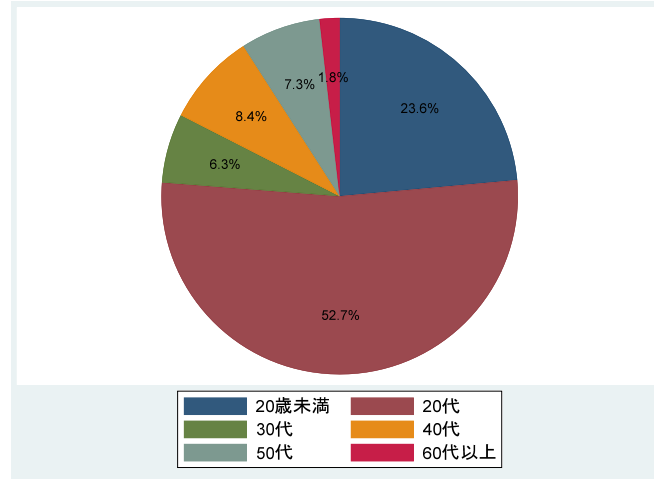
被接種者の特性 (回答数7205名)

1回目	2回目
3917名	3288名

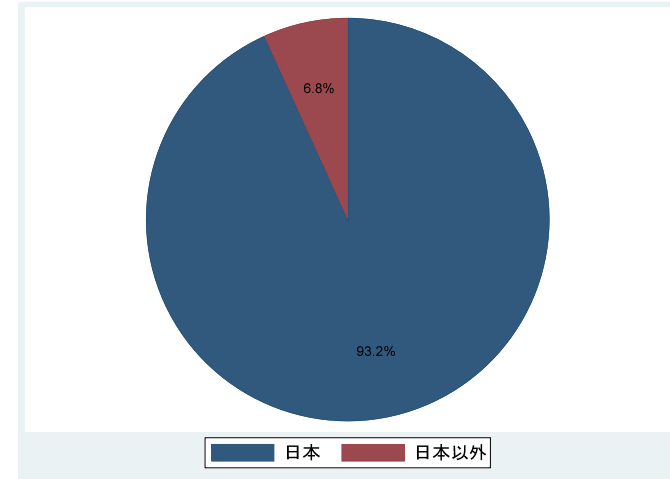
男女比



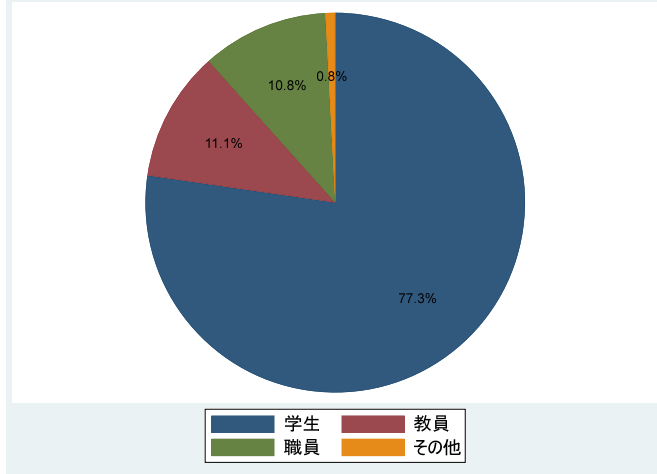
年齢分布



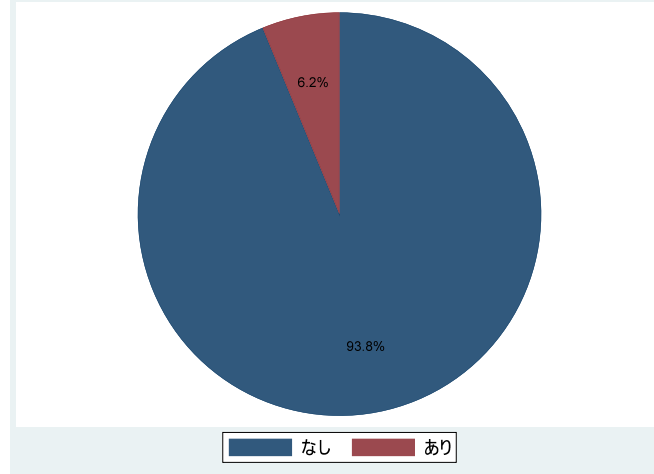
国籍



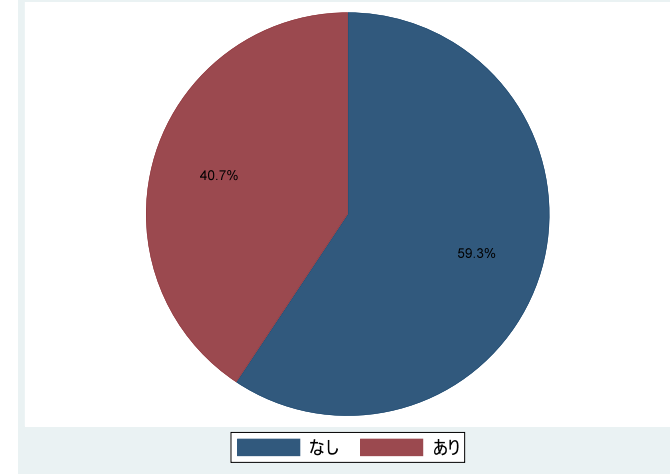
属性



基礎疾患



アレルギー歴



基礎疾患あり(449名)の詳細

	人数 (人)	割合(/7205名)
肥満(BMI 30以上)	125	1.73%
慢性呼吸器疾患	29	0.40%
慢性心疾患・高血圧	68	0.94%
慢性腎疾患	13	0.18%
慢性肝疾患(脂肪肝と慢性肝炎は除く)	12	0.17%
神経疾患・神経筋疾患	9	0.12%
血液疾患(鉄欠乏性貧血は除く)	21	0.29%
糖尿病	24	0.33%
疾患や治療に伴う免疫抑制状態	14	0.19%
睡眠時無呼吸症候群	34	0.47%
その他	162	2.20%

アレルギー歴あり(2931名)の詳細

	人数 (人)	割合(/7205名)
気管支喘息	377	5.23%
アトピー性皮膚炎	679	9.42%
アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)	2113	29.33%
食物アレルギー	534	7.41%
薬物アレルギー	160	2.22%
虫アレルギー(ハチなど)	44	0.61%
アナフィラキシー	51	0.71%
その他	140	1.94%

接種回数別 副反応出現割合

	1回目(%) 3917名	2回目(%) 3288名
局所反応		
痛み	91.4	90.0
腫脹	40.1	55.3
発赤	19.7	40.6
痒み	17.5	31.5
全身反応		
筋肉痛	59.3	64.4
倦怠感	48.4	84.2
頭痛	29.6	74.7
寒気・悪寒	12.6	63.0
関節痛	15.9	50.2
37.5度以上の発熱	23.2	88.0
嘔気・嘔吐	5.0	12.7
下痢	4.4	8.4
発疹	2.4	5.7
副反応に対する対応		
解熱鎮痛剤使用	20.2	72.9
欠勤	15.8	35.0
遅刻・早退	6.4	11.2

接種回数別 副反応出現割合(妊娠中)

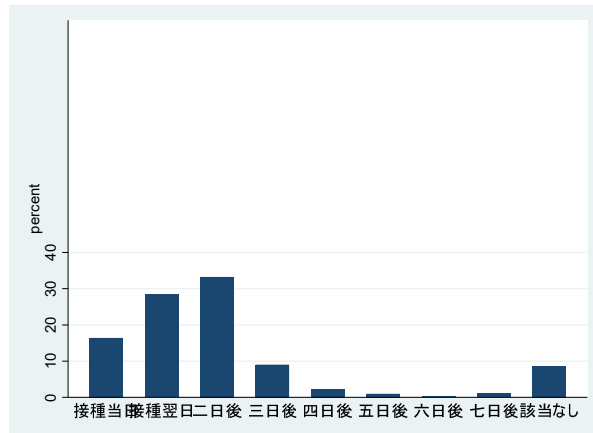
	1回目(%) 10名	2回目(%) 6名
局所反応		
痛み	90.0	83.3
腫脹	20.0	0.0
発赤	0.0	33.3
痒み	0.0	50.0
全身反応		
筋肉痛	60.0	33.3
倦怠感	30.0	83.3
頭痛	30.0	66.7
寒気・悪寒	10.0	16.7
関節痛	0.0	0.0
37.5度以上の発熱	20.0	83.3
嘔気・嘔吐	0.0	0.0
下痢	0.0	0.0
発疹	0.0	0.0
副反応に対する対応		
解熱鎮痛剤使用	20.0	50.0
欠勤	20.0	50.0
遅刻・早退	20.0	0.0

対象者が少数だが、妊娠中の接種で副反応出現頻度が増加する傾向はない

回数別副反応(局所反応)

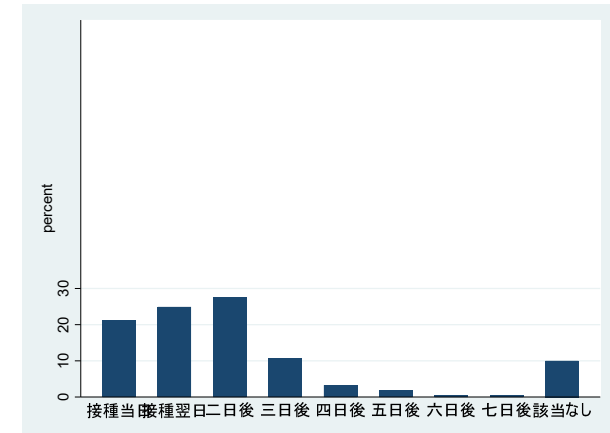
痛み

1回目
(3917名)



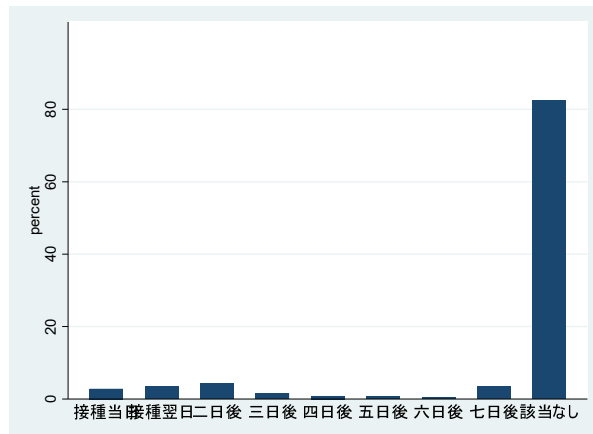
91.4%

2回目
(3288名)

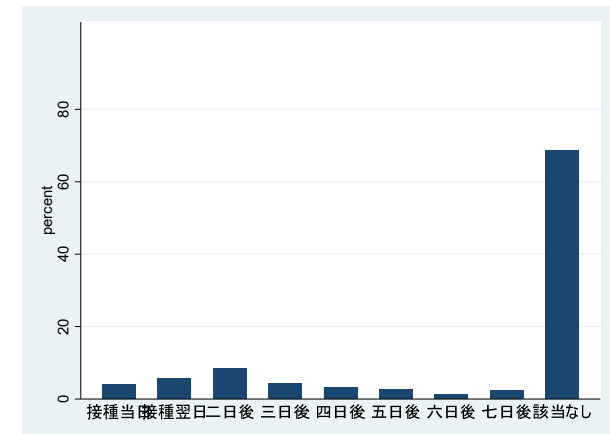


90.0%

痒み



17.5%



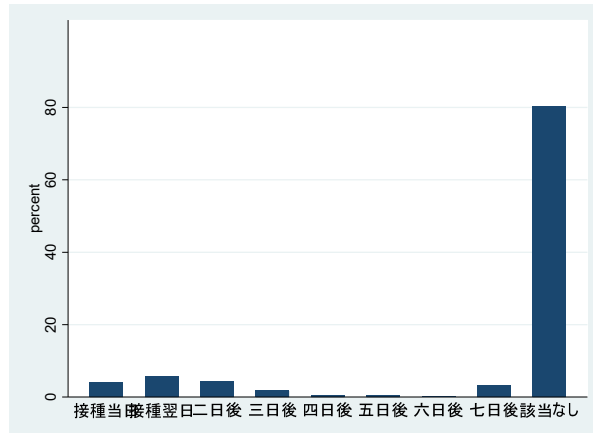
31.5%

2回目接種では1回目接種と比べて局所の痒みがやや増加

回数別副反応(局所反応)

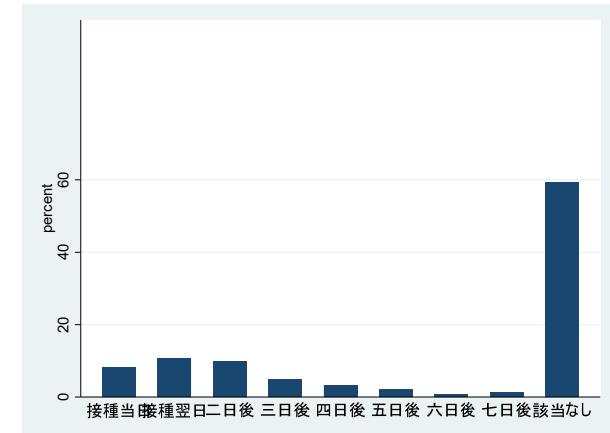
発赤

1回目
(3917名)



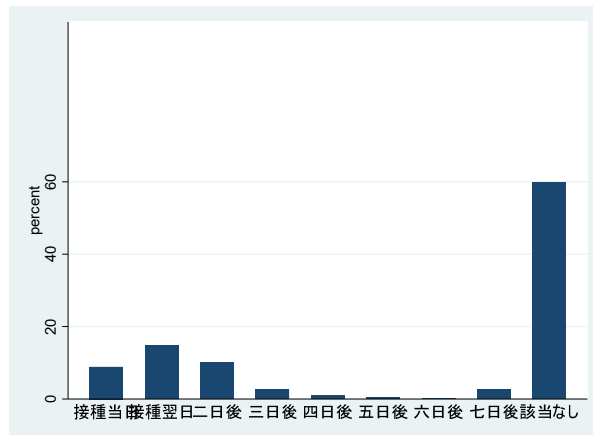
19.7%

2回目
(3288名)

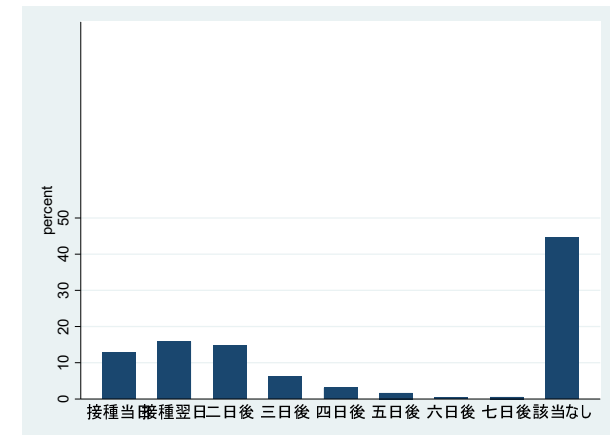


40.6%

腫脹



40.1%



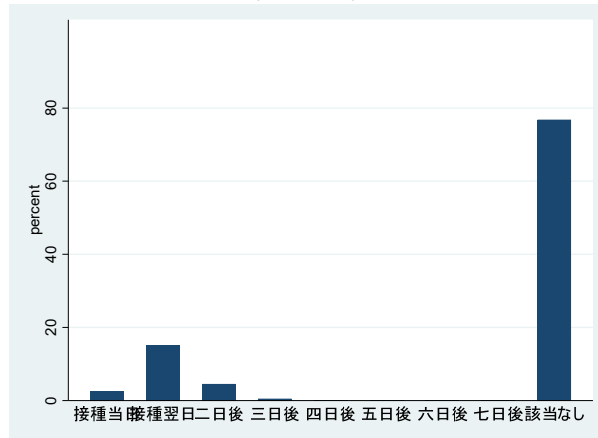
55.3%

2回目接種では1回目接種と比べて局所の発赤・腫脹が増加、一方で遅延性皮膚反応の割合は減少

回数別副反応(全身反応)

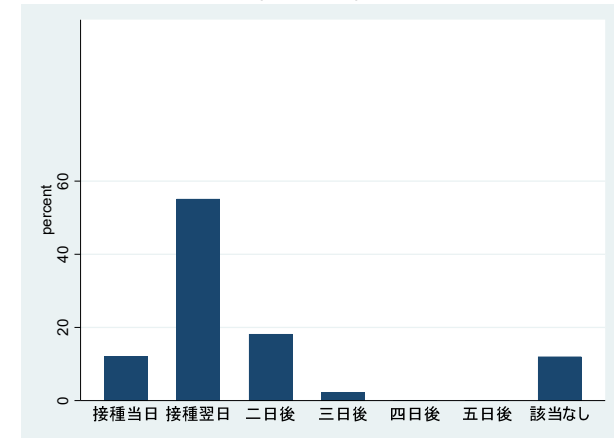
発熱

1回目
(3917名)



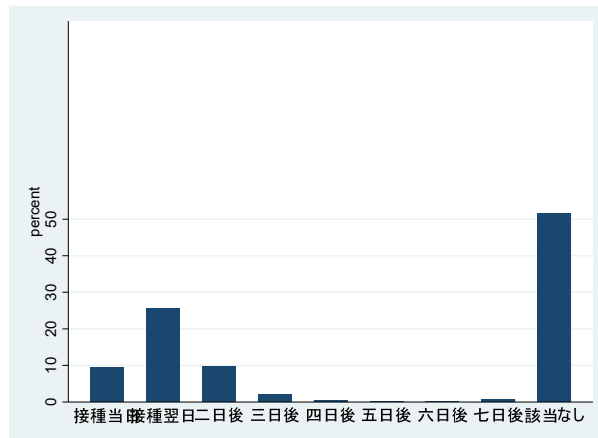
23.2%

2回目
(3288名)

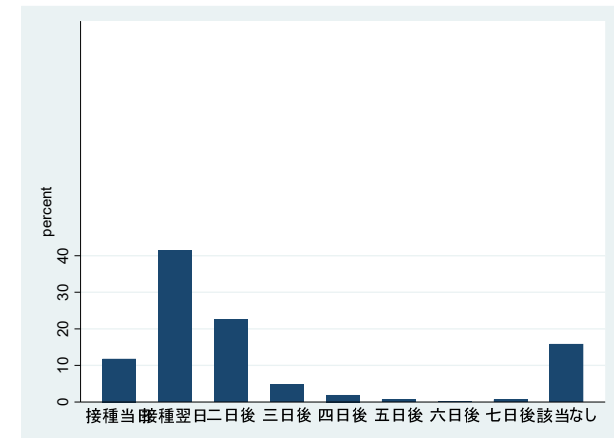


88.0%

倦怠感



48.4%



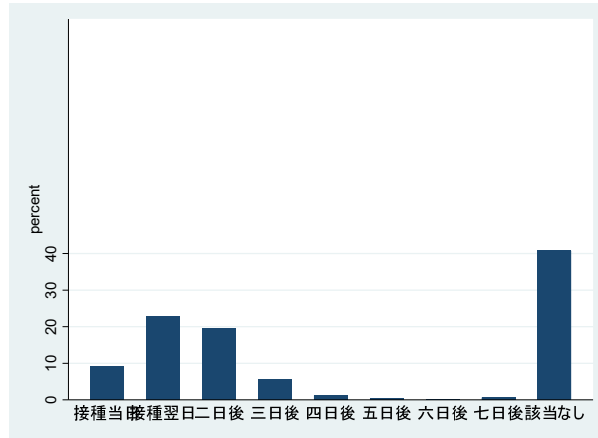
84.2%

2回目接種では1回目接種と比べて発熱、倦怠感の報告が増加

回数別副反応(全身反応)

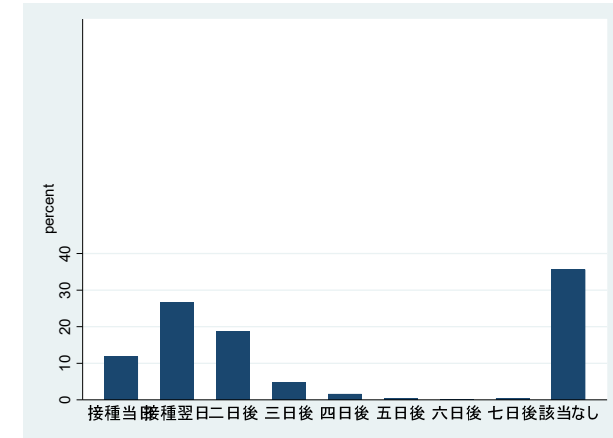
筋肉痛

1回目
(3917名)



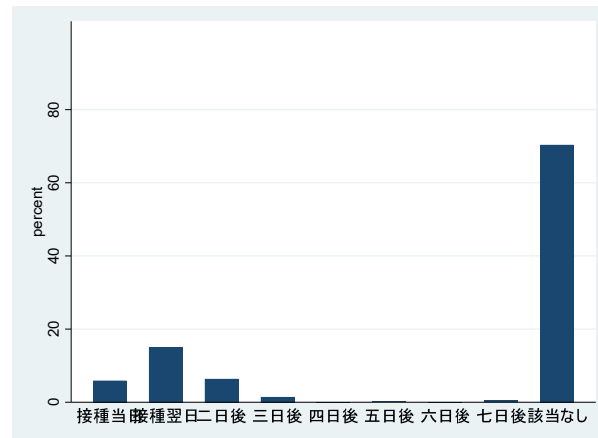
59.3%

2回目
(3288名)

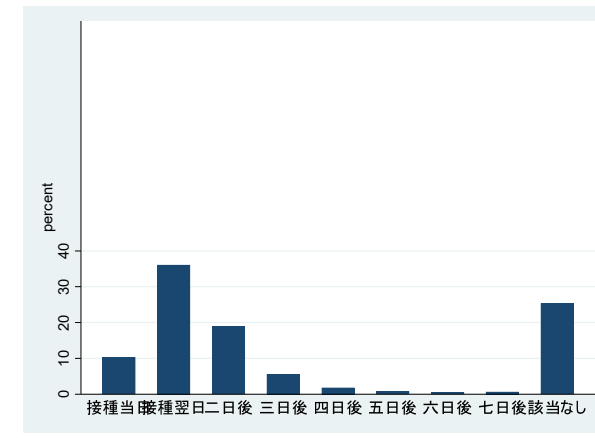


64.4%

頭痛



29.6%



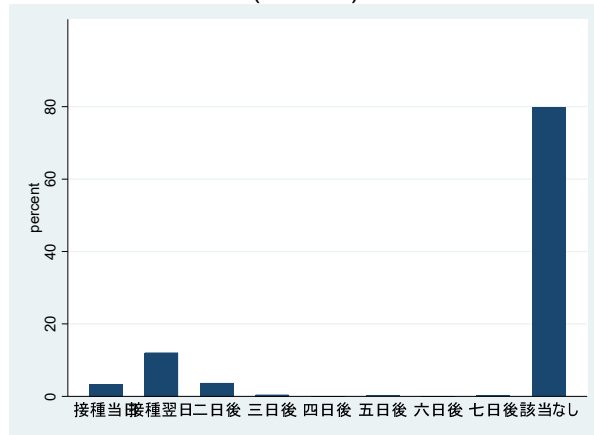
74.7%

2回目接種では1回目接種と比べて頭痛の報告が増加

回数別副反応への対応 (予防措置を含む)

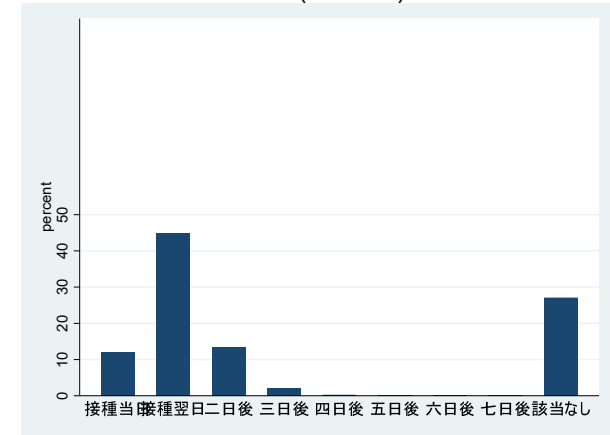
解熱鎮痛剤使用

1回目
(3917名)



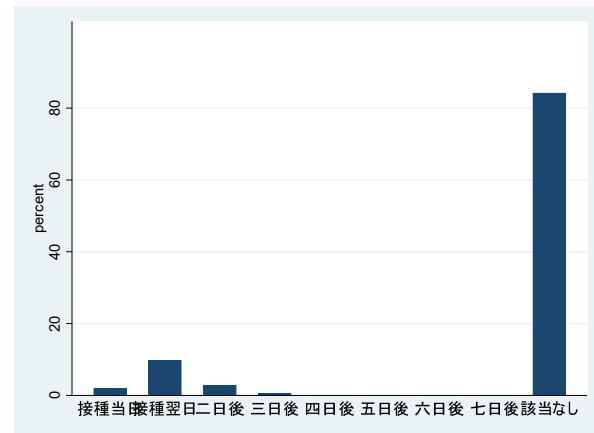
20.2%

2回目
(3288名)

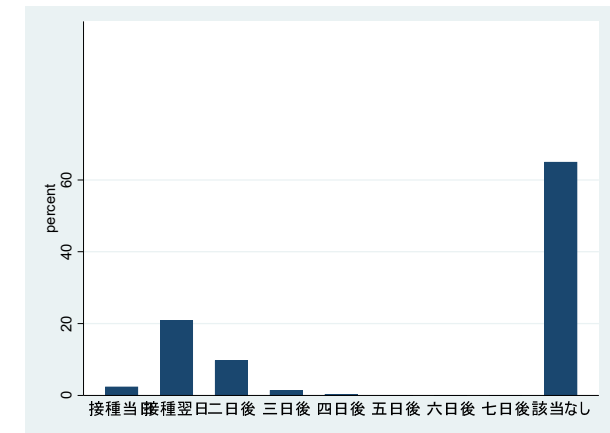


72.9%

授業や仕事を休んだ



15.8%



35.0%

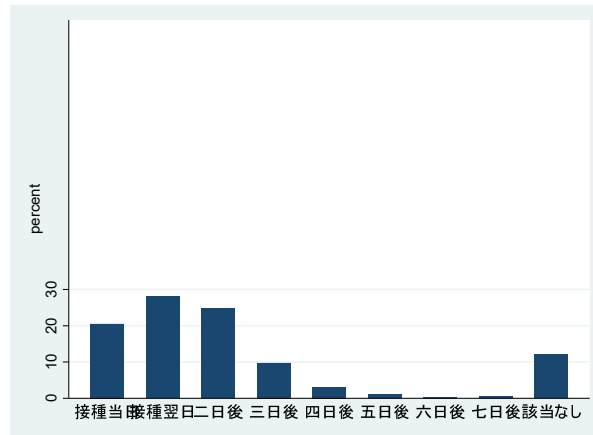
2回目接種では1回目接種と比べて解熱鎮痛剤使用や授業・仕事を休んだ人が増加

2回目接種 性別副反応

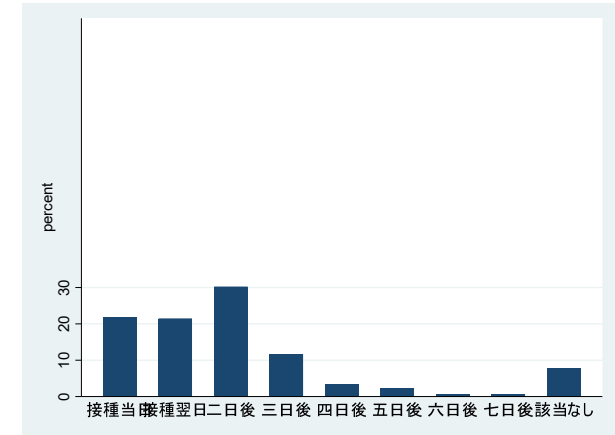
男性
(1687名)

女性
(1601名)

局所:痛み

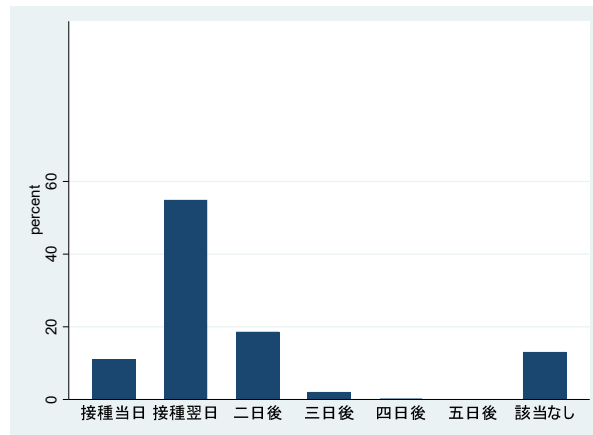


88.0%

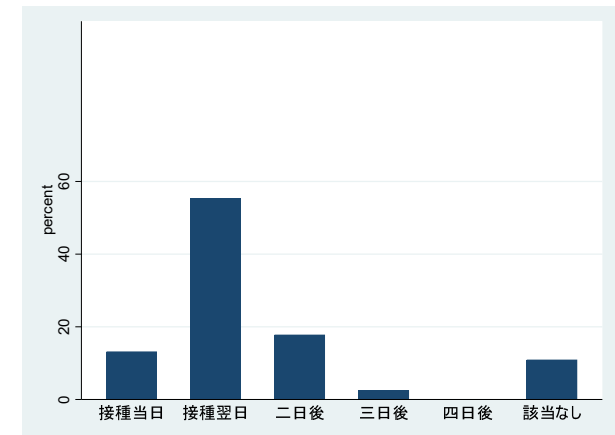


92.2%

全身:発熱



87.0%

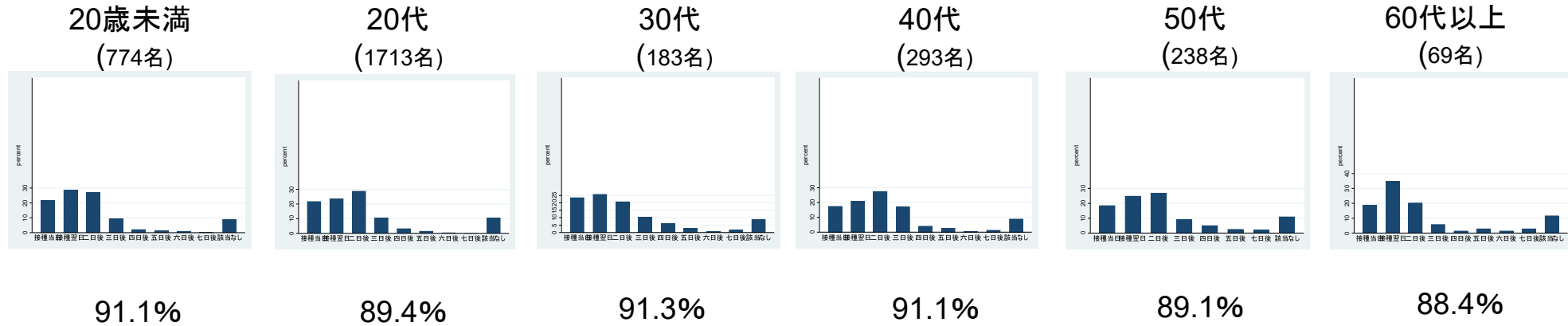


89.1%

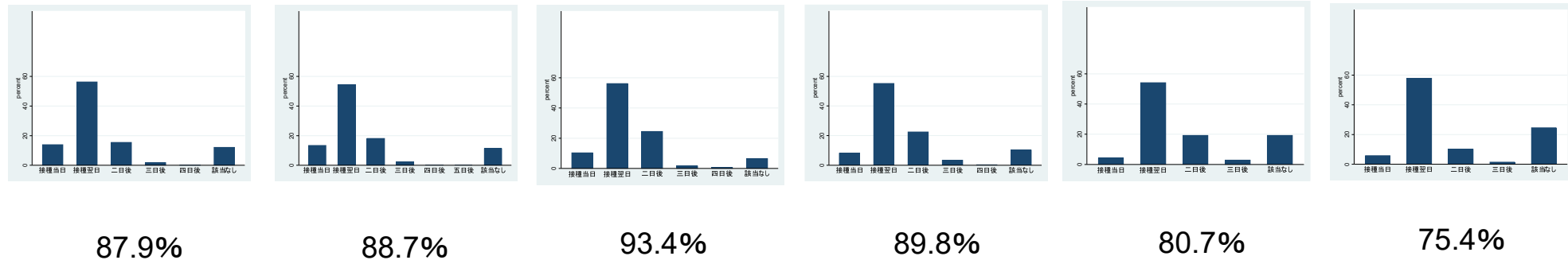
女性では男性と比べて副反応が若干多い傾向

2回目接種 年代別副反応

局所：痛み



全身：発熱

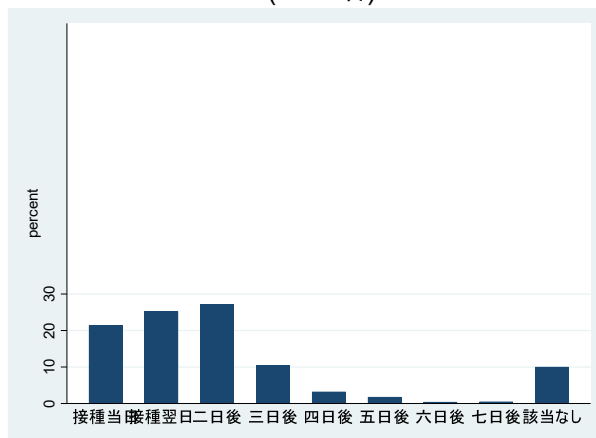


40代以下では90%前後が発熱、60代以上でも75.4%が発熱した

2回目接種 基礎疾患別副反応

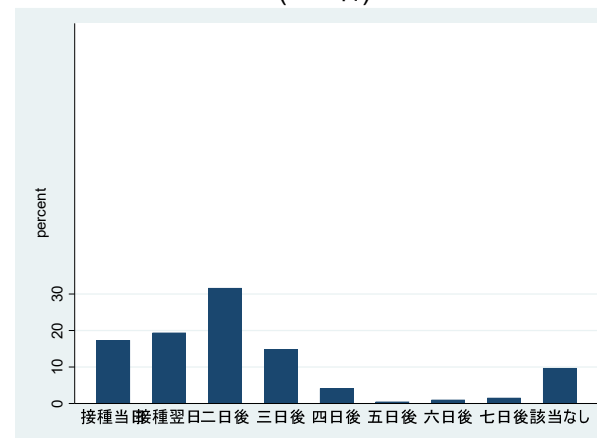
局所：痛み

基礎疾患なし
(3092名)



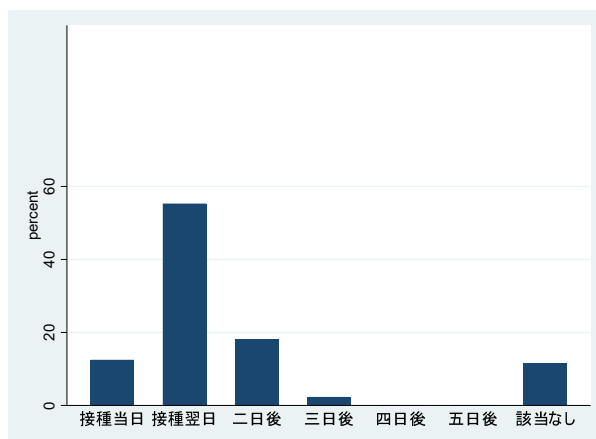
90.0%

基礎疾患あり
(196名)

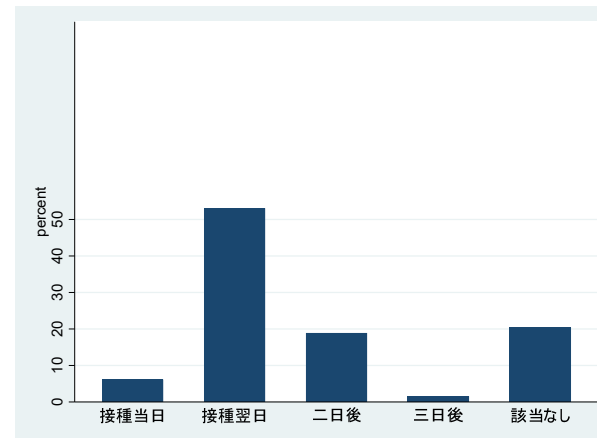


90.3%

全身：発熱



88.5%

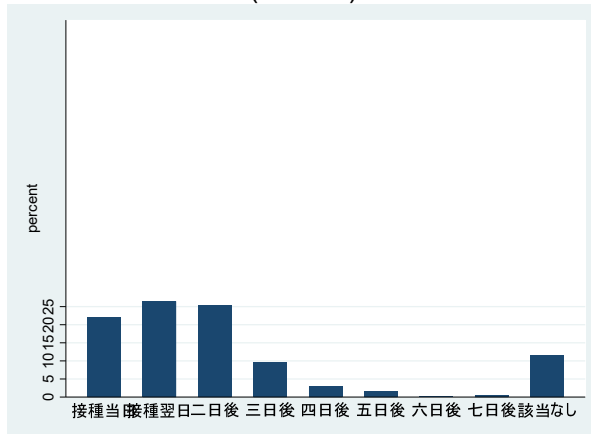


79.6%

基礎疾患があっても副反応は増加しない(発熱はやや減少)

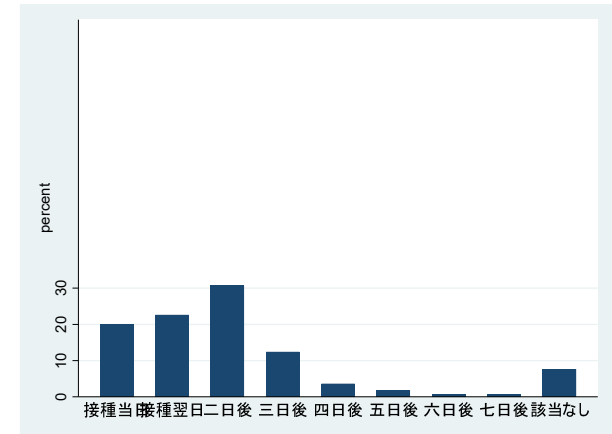
2回目接種 アレルギー歴別副反応

アレルギー歴なし
(1948名)



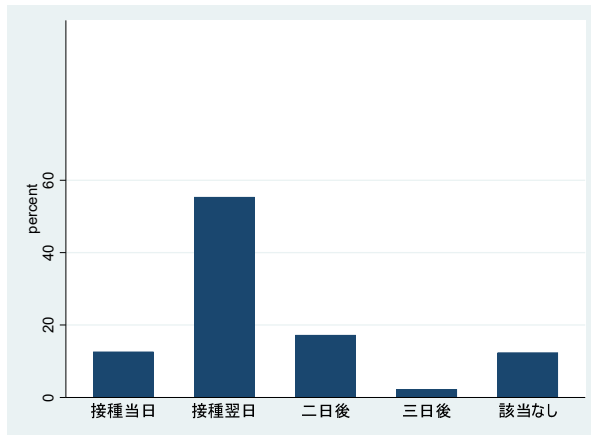
88.4%

アレルギー歴あり
(1340名)

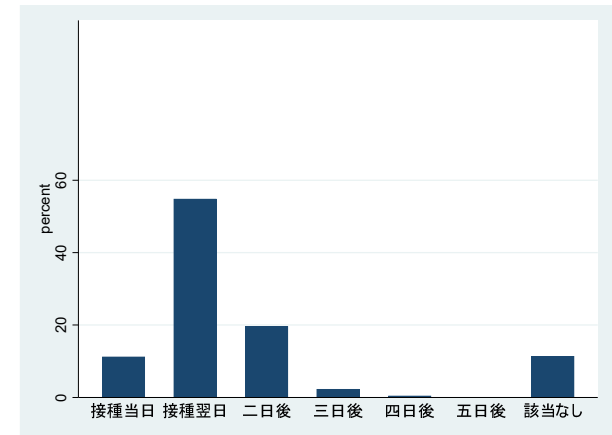


92.4%

局所:痛み



87.6%



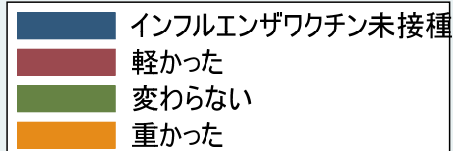
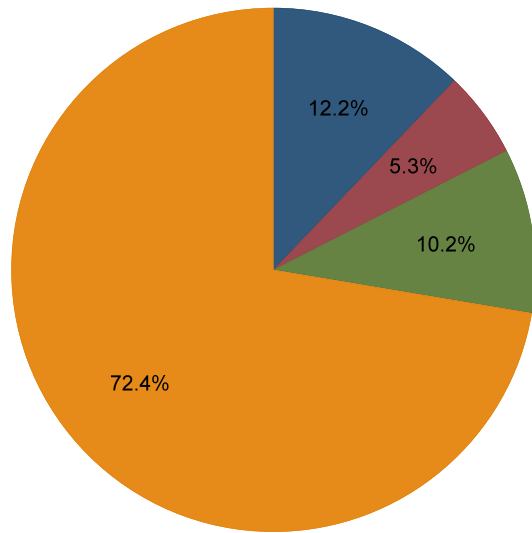
88.6%

全身:発熱

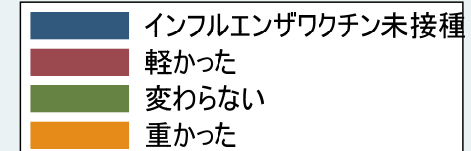
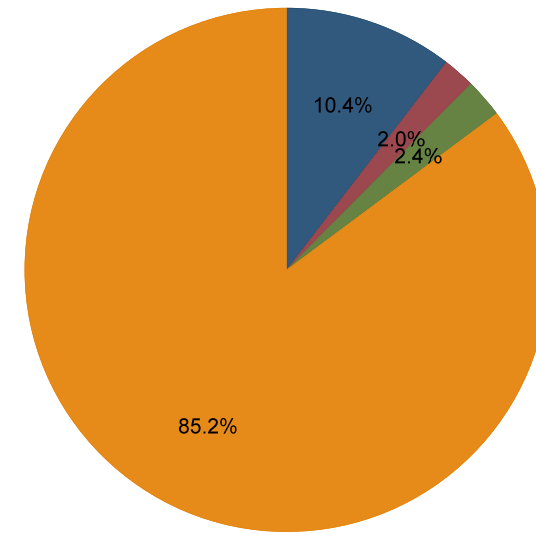
アレルギー歴がある人の副反応報告はない人と比べて微増程度

インフルエンザワクチンとの比較(主観)

1回目
(3917名)



2回目
(3288名)



2回目接種ではインフルエンザワクチンと比べて副反応が重いと感じる人が増加

ファイザーワクチン2回目接種後副反応調査結果との比較 (20代以下)

		1回目(%)		2回目(%)	
		モデルナ	ファイザー	モデルナ	ファイザー
		2987名	1304名	2505名	1020名
局所反応					
	痛み	92.1	88.3	89.9	85.5
	腫脹	41.8	20.6	55.0	34.1
	発赤	19.6	12.1	38.9	18.2
	痒み	16.6	9.2	29.3	14.9
全身反応					
	筋肉痛	63.2	50.7	66.8	53.0
	倦怠感	51.0	25.6	84.8	76.2
	頭痛	32.1	19.0	76.9	59.5
	寒気・悪寒	14.2	4.3	66.0	36.6
	関節痛	17.6	5.5	49.9	35.6
	発熱	26.2	3.7	88.4	48.1
	嘔気・嘔吐	5.2	3.2	13.1	13.7
	下痢	4.5	2.9	8.1	5.6
	発疹	2.1	0.5	5.1	1.3
副反応に対する対応(予防措置を含む)					
	解熱鎮痛剤使用	21.0	25.4	73.7	67.5
	欠勤	17.6	1.5	27.0	14.0
	遅刻・早退	6.6	0.7	8.6	7.1

注1). ファイザーワクチンは項目により回答数にばらつきあり

注2). ファイザーワクチンは調査対象が医療従事者であるため、予防的な解熱鎮痛剤使用が多く、結果に影響した可能性がある

対象集団や解熱鎮痛剤使用割合が異なるが、モデルナワクチンはファイザーワクチンに比べて副反応が出る割合が高い

モデルナワクチン接種後副反応調査最終報告

(2021年7月5日～9月6日集計分)

- のべ7205名(1回目3917名、2回目3288名)がモデルナワクチン接種後の副反応調査に回答
- 2回目接種では1回目と比較して全身反応の出現頻度が高く、40代以下では90%前後に、60代以上でも75.4%に発熱が出現
- 遅延性皮膚反応(COVID arm)とみられる接種後7日目前後での局所の腫脹や発赤は、1回目接種後に2～3%前後に出現したが、2回目接種後にはほとんど認められなかった
- 妊娠や基礎疾患があることで、副反応出現頻度が高まる傾向にはなく、アレルギー歴があっても微増程度
- 若い世代(20歳代以下)で比較しても、ファイザーワクチンの接種後副反応よりも、副反応割合が高かった

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました

新型コロナウイルスワクチン

(武田/モデルナ社 COVID-19ワクチンモデルナ筋注)

接種後副反応調査

【補足】

対象期間	調査期間中に、モデルナ社製新型コロナウイルスワクチンが使用見合わせとなり、8月26日以降一旦中止。その後、9月3日に接種が再開され、15日に終了している。タイムリーに結果を報告する目的のために、9月6日までの集計分(8月25日接種分まで)で解析を行っている。
リマインド方法	接種1週間後にメールでリマインド、リマインド回数は1回
回収割合	1回目:約44% 2回目:約42%